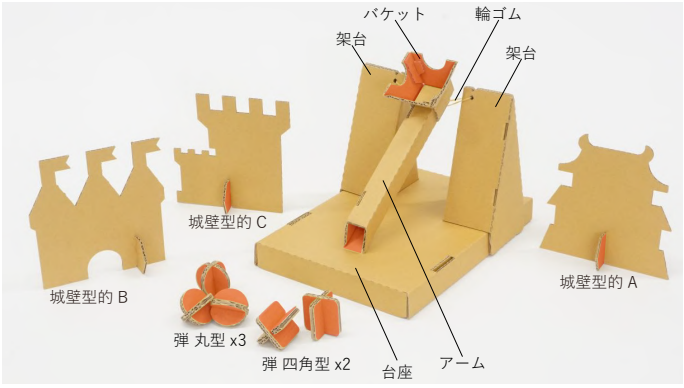


ダンボール投石機 組立説明書



注意 設置の前にお読み下さい

- 組み立て時には手など切らないよう十分に気をつけてください。
- 火または水に絶対近づけないで下さい。
- 極端な高温・低温または、高温低温などの環境下で使用すると急速に劣化する恐れがあります。
- 組み立ては確実に行って下さい。組み立てがしっかりと行われていないと、トラブルの原因となる可能性があります。

本製品はインストラクター役を設けて、参加者に組み立ての指導を行うことを前提としたワークショップ向けの製品です。

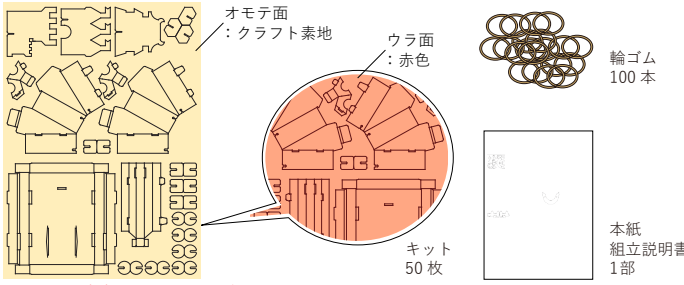
参加者毎に組立説明書を配布することは想定していません。

インストラクター役は組立説明書から、組み立ての手順やコツをマスターした上でワークショップに臨んでください。

特に間違えやすい工程や、子どもの力だけでは困難な工程を□で囲っています。

適宜手助けをし、円滑なワークショップ運営に努めてください。

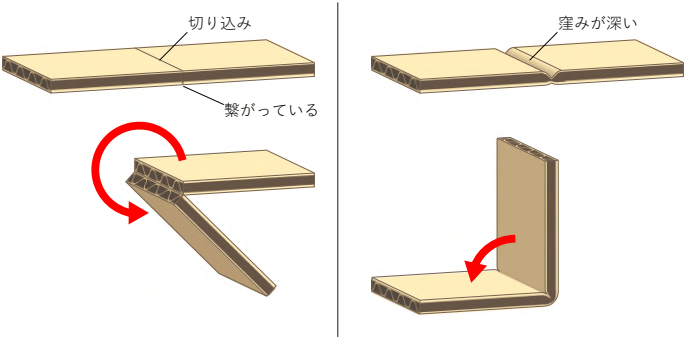
セット内容



キットには折曲線とハーフカットがあります。表裏を確認しながら折り曲げる方向に注意しながら組み立てを進めてください。不慎の場合、本来と逆の方向に折り曲げてしまう例が多々見られます。一度逆方向に曲げてしまうと、その後に正しい方向に折り曲げ直しても、見た目も優れず、折れ曲る位置がずれてしまい正確な組み立てができません。インストラクターは折り曲げを始める際に正しい折り曲げ方向を指示してください。

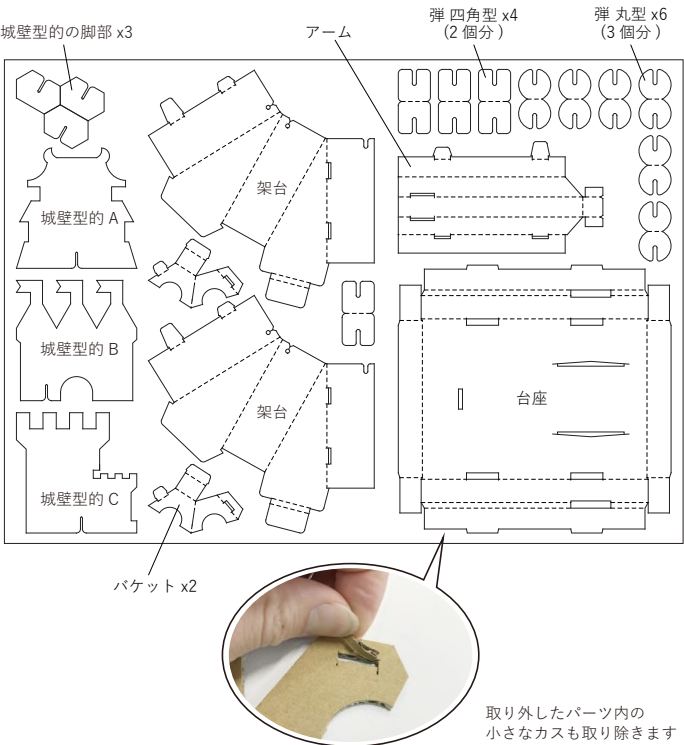
ハーフカット（半切）
皮一枚を残した切り込みです。段目を開放するように 180 度の折り曲げを行います。

折曲線
表裏を見比べ、窪みが深く大きい側が谷折りです。

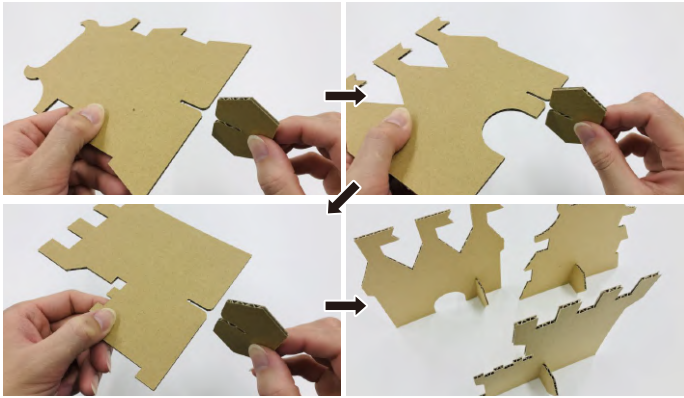


組立方

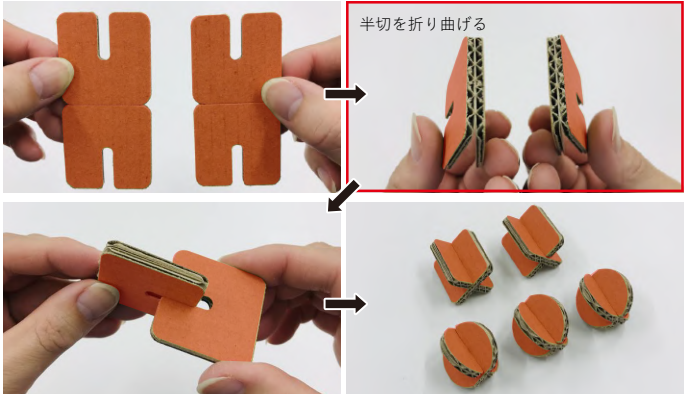
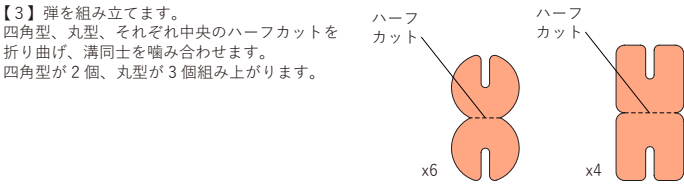
【1】すべてのパーツを台紙から取り外します。



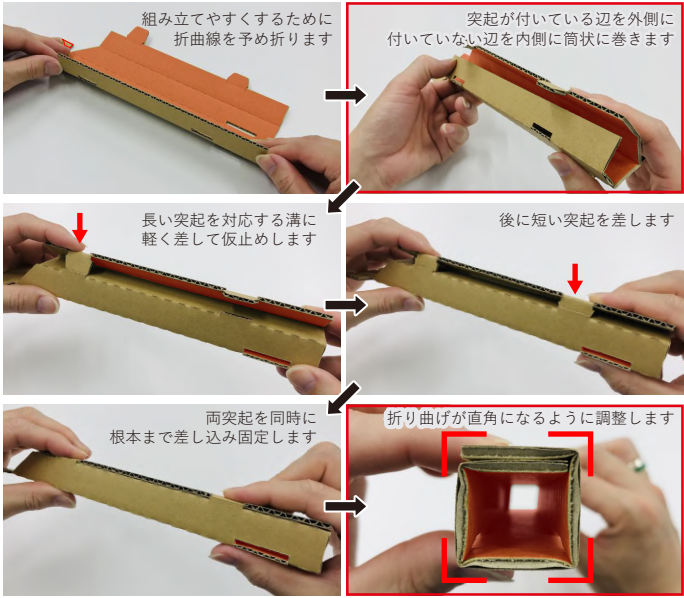
【2】的を組み立てます。城壁型的 A・B・C の下部の溝から脚部を差し込みます。



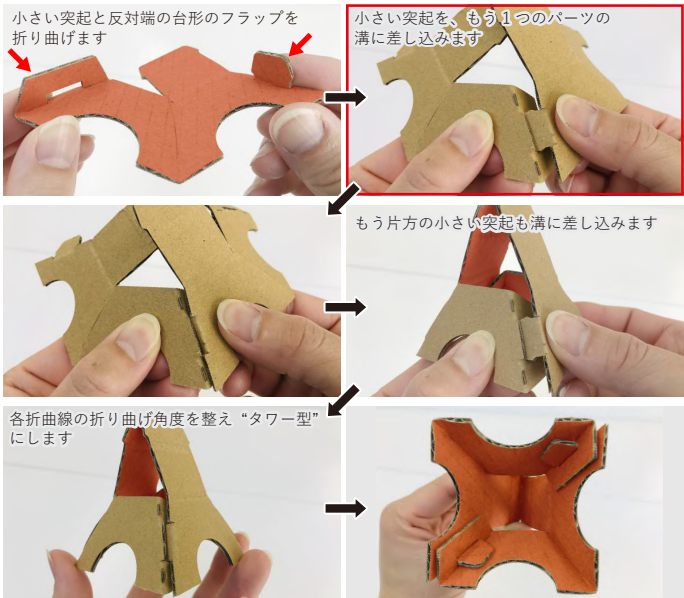
【3】弾を組み立てます。
四角型、丸型、それぞれ中央のハーフカットを折り曲げ、溝同士を噛み合わせます。
四角型が 2 個、丸型が 3 個組み上がります。



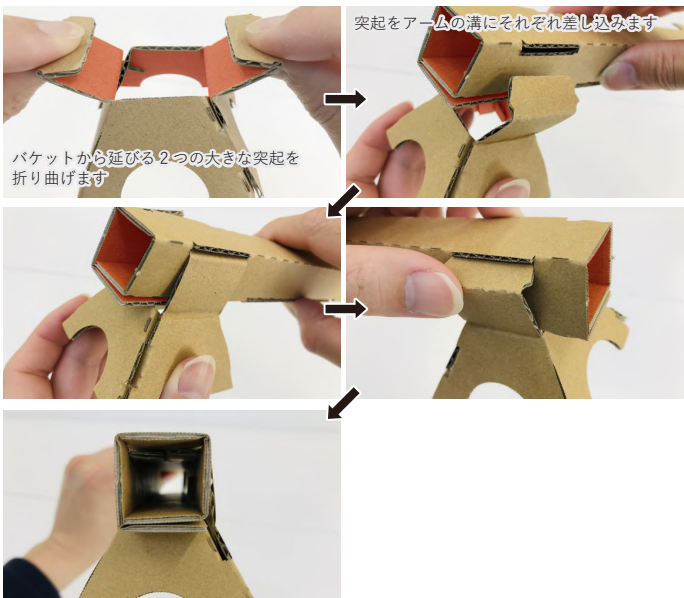
【4】アームを組み立てます。



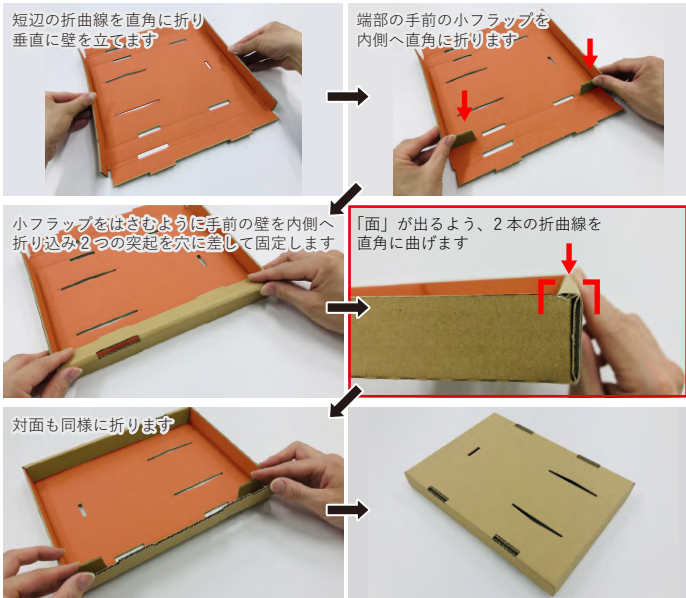
【5】バケットを組み立てます。



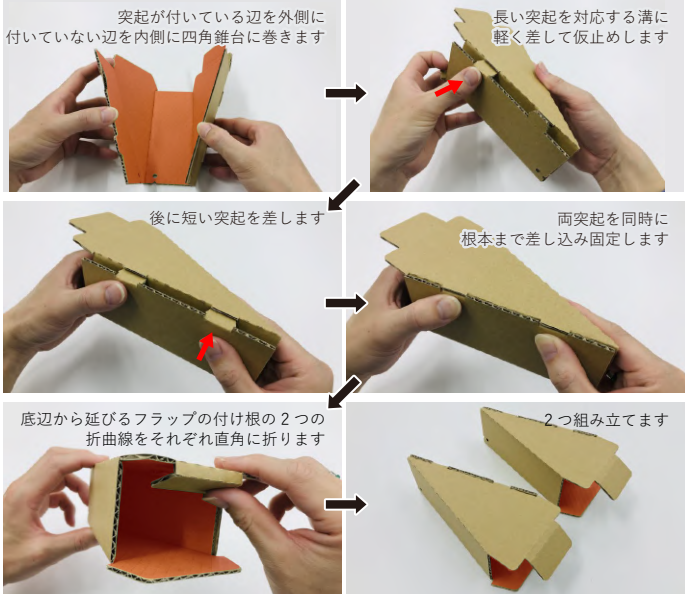
【6】アームとバケットを連結します。



【7】台座を組み立てます。



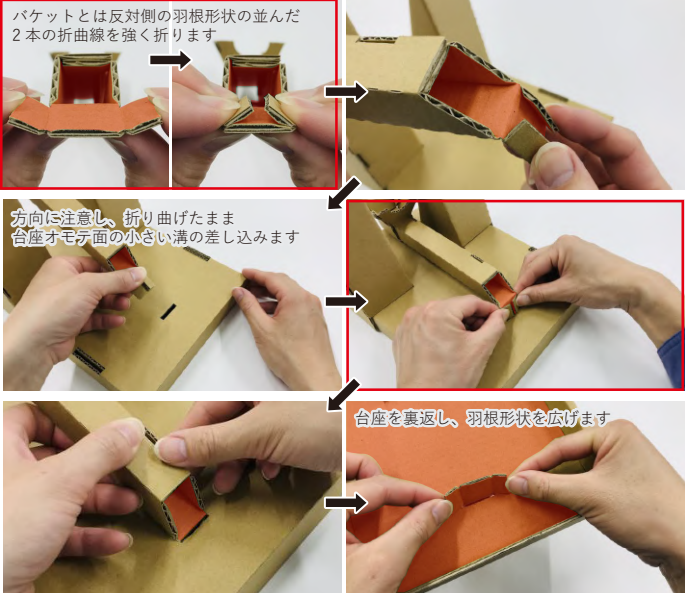
【8】架台を組み立てます。



【9】台座に架台を取り付けます。



【10】台座にアームを取り付けます。

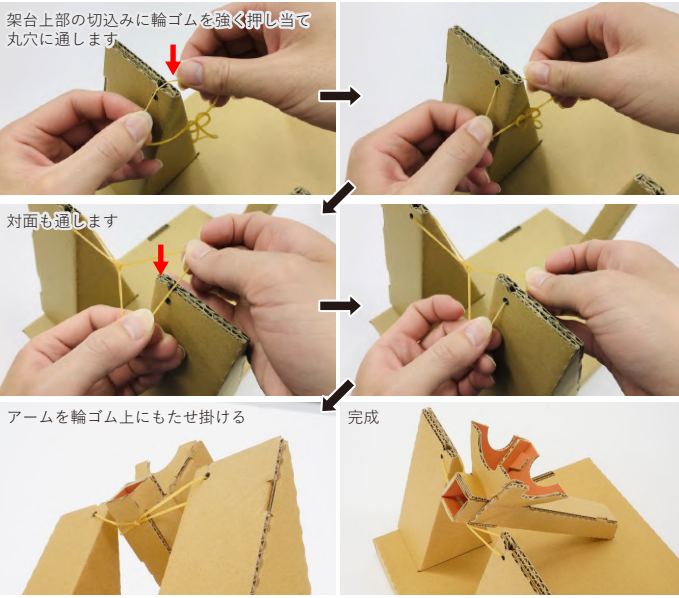


【11】2 本の輪ゴムを繫げます。

※説明用に色分けしています

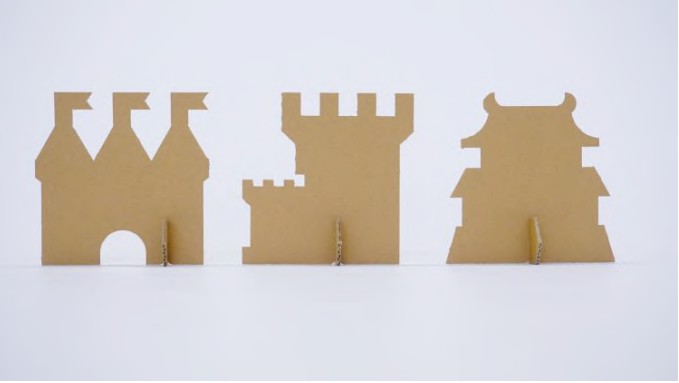


【12】 架台に輪ゴムを取り付けます

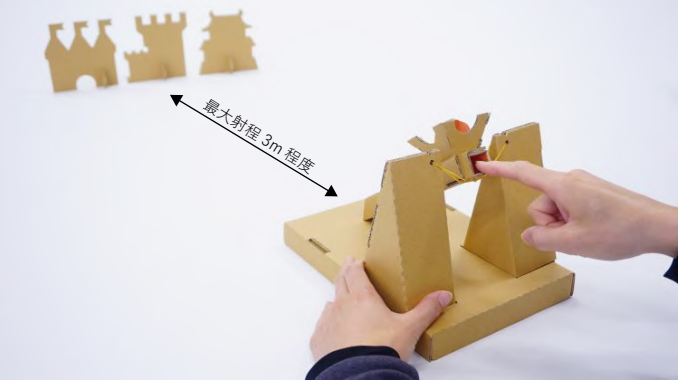


遊び方

テーブルなどの平らな場所に的を立てます。



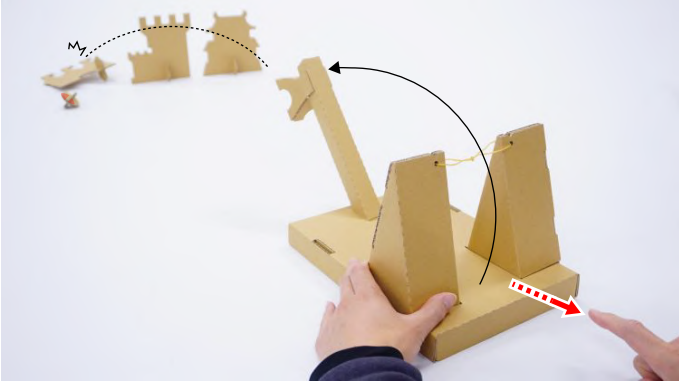
的に向けて投石機本体を置きます。バケットに弾を載せ、アームの穴に指を掛け、投石機が動かないよう反対の手で台座を支えます。



アームに掛けた指を下方へ引き下げます。投石機の向き、アームの引き下げ量を調整し、的を狙います。



アームに掛けた指を素早く引き抜くと輪ゴムの張力でアームが引き戻され、弾が打ち出されます。的を全部倒すまでの弾数を競うなどしてゲームを行います。



安全対策

安全のため、ワークショップでは以下の指導を徹底してください。



- ・ 的以外の人や物に向けて撃たないように注意してください
- ・ 組み立てワークショップと的当ては別の場所で行ってください
- ・ 強度を保つため、色付けや、改造を行わないでください
- ・ 輪ゴムが切れてしまった場合は市販の 16 号の輪ゴムを使用してください
- ・ ワークショップ終了時には、必ず的を持ち帰るようにしてください
- ・ ダンボールを廃棄する際はリサイクルにご協力ください



より円滑にワークショップを行っていただくために動画で組み立て方を公開しています。書面では伝わりづらい箇所もありますので、インストラクター役の方は必ずご覧ください。



<https://youtu.be/D0t7CmVYkAE>

協和ダンボール株式会社
岐阜県恵那市長島町中野 1269-2
TEL 0573-28-3030